

# 第六期武蔵野市コミュニティ市民委員会

## 中間報告

平成 21 年 8 月

第六期武蔵野市コミュニティ市民委員会

< 目 次 >

パブリックコメントの主旨

中間報告の位置づけ

I. コミュニティの現状と課題.....	1
1. 本報告におけるコミュニティの捉え方 .....	1
2. コミュニティの現状と課題 .....	2
3. コミュニティセンターの現状と課題.....	4
II. コミュニティの活性化に向けて .....	6
1. コミュニティ協議会の役割・機能 .....	6
1-1 コミュニティにおける役割・機能.....	6
1-2 コミュニティセンターの管理・運営における役割・機能.....	8
2. 行政の役割について.....	11
3. コミュニティセンターの移転・新築・改修について.....	12
III. さらなる論点.....	13
検討の経緯.....	14
委員名簿.....	15

## パブリックコメントの主旨

武蔵野市では、コミュニティ構想(1971年)に基づき、全国に先駆けて市民主導のコミュニティづくりが行われてきました。現在、家族の変容、高齢社会の到来等により地域のつながりが薄れる中、孤立しがちな市民をつなぐコミュニティへの期待が高まっています。そこで、市民間の連携を支え、市民の期待に応え得るコミュニティのあり方等を検討するため、第六期武蔵野市コミュニティ市民委員会を設置しました。

委員会では、答申の作成に向け、市民アンケート調査や各コミュニティ協議会からのヒアリングを含め13回の委員会を実施し、議論を進めてきました。

このたび、これまでの議論の結果を「中間報告」としてとりまとめ、市民の皆様から幅広くご意見をいただくこととしました。

委員会では、今後、皆様からのご意見を参考に最終答申を作成させていただきます。何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### ■ ご意見の提出方法

- 電子メール、FAXまたは郵送のいずれかの方法でご意見をお寄せください。なお、電話によるご意見の受付はいたしません。
- ご意見の提出にあたっては、氏名、住所、連絡先をご記入のうえ提出をお願いいたします。

### ■ 募集期間

平成21年8月18日(火)～平成21年9月8日(火)まで(必着)

※ 提出いただいたご意見は、原則公開とさせていただきます。

#### 【あて先(問い合わせ先)】

武蔵野市企画政策室 市民協働推進課 コミュニティ推進係

住 所：180-8777 武蔵野市緑町2-2-28

電 話：0422-60-1830 F A X：0422-51-9540

e-mail：sec-kyoudou@city.musashino.lg.jp

## 中間報告の位置づけ

- 第六期武蔵野市コミュニティ市民委員会は、以下の4点について、市長に提言することが求められています。
  - ①市民間の連携を支え、地域の活力を高めるコミュニティのあり方に関すること。
  - ②地域活動の拠点としてのコミュニティセンターの機能の強化に関すること。
  - ③コミュニティセンターの移転、新築、改修等に関すること。
  - ④コミュニティ活動の活性化に関すること。

本報告は、上記についての提言を行うにあたり、これまでの委員会の議論をとりまとめたものです。
  
- 市内の各地域は、それぞれ様々な課題を抱えていますが、そうした課題への対応は、第一義的には各地域の住民、各コミュニティ協議会が検討すべきものです。
  
- 本委員会においては、武蔵野市のコミュニティ施策全体に関する方向性やあり方を示すことを目的とします。

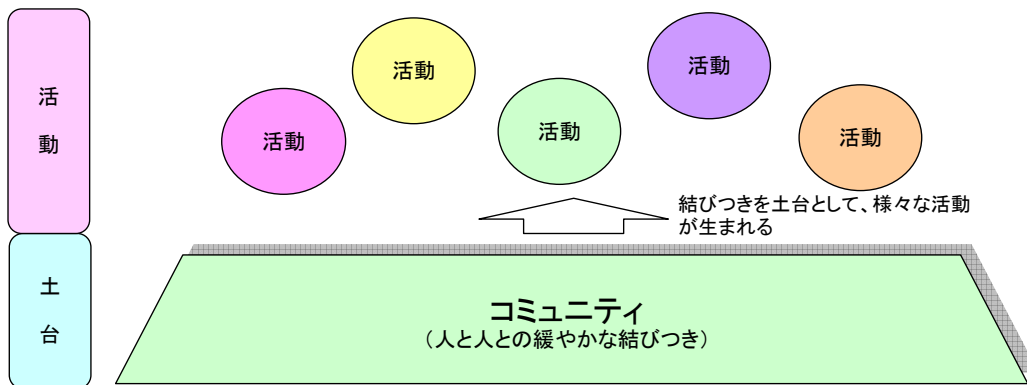
# I. コミュニティの現状と課題

## 1. 本報告におけるコミュニティの捉え方

～コミュニティ活動とその土台を分けて考える～

- 今後のコミュニティのあり方を議論するにあたり、本報告におけるコミュニティの捉え方を整理しておきたい。
- コミュニティとは、人と人との緩やかな結びつき（絆）であり、活動はそれを基礎として派生するものと考えられる。そこで、本報告では、コミュニティと、コミュニティから派生する「活動」を分けて考えることとしたい。従来のコミュニティは、上の両者を合わせたものとして捉えられていた。

コミュニティとコミュニティ活動の関係のイメージ



- 地域には、様々な課題が存在するが、地域の人々が課題を認識し、課題を共有し、活動を起こす（自ら活動する場合もあれば、他の団体や行政などへ働きかけを行う場合も含まれる）前提として、まずは、活動の土台として人と人とのつながり、結びつきをつくっていくことが必要である。
- コミュニティのあり方を考える際には、第1に活動の土台として人と人とのつながりをどのように作るか、第2に土台をもとに行われる地域の活動をどのように促進するか、の両面からの検討が必要である。

## 2. コミュニティの現状と課題

### (1) 土台づくりに関する現状と課題

人と人とのつながりが求められているが、出会いの場、交流の場がない。

- コミュニティ活動の土台となる、人と人とのつながりについてみると、市民アンケート結果によれば、「いざというときに助け合えるつながり」が求められる一方、「地域で助け合える人がいない」という人が相当数（4割強）いる。
- また、少子化の進展に伴う子どもをきっかけとしたつながりの減少、高齢化の進展に伴う高齢単身世帯の増加などによって、人と人とのつながりが弱くなっているという懸念がある。

市民アンケートに寄せられた自由回答でも、地域での人と会う機会がないという意見や、地域での人とのつながりを求める意見が寄せられている。

#### 人と人とのつながりに関連した自由意見の一例

- ・地域の人と会える機会がほとんどないのが現状で、本当はもっと交流したいと思っている。
- ・住んでいる地域で人とのつながりを求めたいが、若年層が出会える場が極端に少ない。
- ・近所のつき合いがほとんどなくなってきている。つき合いが面倒くさいという方もいると思うが、防犯や、緊急時に助け合える、お互いをサポートできることが理想。新たなコミュニティの仕組みが必要な時期になっていると思う。

### (2) コミュニティ活動に関する現状と課題

地域には、多くの問題解決が期待されており、その中には地域だけでは背負い切れない問題もあることから、こうした問題にどのように対応していくかが課題である。

- コミュニティ活動の現状をみると、コミュニティ協議会、町内会・自治会などの地域単位の組織や、福祉、教育、防災、などの各分野別の団体、その他趣味やサークル等の団体などが組織され、自主的な活動が行われてきている。
- 一方で、市民アンケート結果によれば、地域には「防犯・治安対策」や「災害時

の対応」をはじめとして、「高齢者・障がい者への支援」、「子どもの見守り・指導」、交通安全関連の問題など、多くの問題解決が期待されている。

こうした問題の中には、地域では背負い切れない問題もあることから、こうした問題に対して、どのように対応していくかが課題となっている。

#### 期待される問題解決に関連した自由意見の一例

- ・災害時等に障害者や高齢者の安否確認他をしたり、一時避難をしたり病気の者に薬等の手配を手伝ってもらえるものであればありがたいと思う。
- ・小中高生が利用しやすくし、勉強場所も提供し、その一方で学校や警察と情報を密にし、家庭教育の崩れを補う様な躰が出来る体制が望まれる。
- ・吉祥寺駅を中心にりっぱな歩道があるのに、自転車のため道幅が2/3、半分になっているため非常に危険な状況です。安全できれいな町づくりのために市民のボランティアが必要なのではと思っています。

### 3. コミュニティセンターの現状と課題

#### (1) 土台づくりに関するコミュニティセンターの現状と課題

コミュニティセンターの利用者が一部に限定されている。

気軽に立ち寄れる場所となっていない。

窓口の対応に問題がある場合がある。

- 人と人のつながりづくりという面からコミュニティセンターをみると、市民アンケート結果によれば、利用者が一部にとどまり、気軽に立ち寄れる場所とはなっていない、利用の方法が正確に認知されていないという問題がある。
  - ・利用者が一部にとどまっている。「利用したことがあり、今も利用する」という人は約3分の1、「利用したことがない」人が3分の1以上。）
  - ・必ずしも「気軽に立ち寄れる場所」とはなっていない（利用しない理由として、「入りにくい雰囲気がある」が2割強。）
  - ・コミュニティセンターについてはある程度認知されているが（「知っている」、「ある程度知っている」が合わせて8割弱。）、利用方法なども含めて正確には理解されていない（利用しない理由として、「特定の団体しか利用できないと思っていた」という回答が14.3%。）
- また、市民アンケートの自由意見では、窓口において不快な対応を受けたなどの意見も寄せられている。

#### 窓口に関連した自由意見の一例

- ・ボランティアとはいえ受付の雰囲気はとても大事です。無愛想な方が数名います。
- ・子供の頃毎日のようにコミュニティセンターを利用していましたが、ボランティアの方が受付をしていましたが、小・中学生にはそっけない態度、寧ろ邪険にあつかわれているようでした。そんな事では集まりたい人も集まらず、気軽に立ち寄れる場所にはならないと思います。
- ・もっと気軽に立ち寄れる様な状況にしていく必要があると思います。一度用事（特に）なく入ったら、嫌な対応をされました。それからは一度も入っていません。



## (2) コミュニティ活動に関するコミュニティセンターの現状と課題

コミュニティセンターが、単なる「貸し館」となってしまう、活動促進の拠点となっていないのではないか。

- コミュニティ活動の促進という面からみると、コミュニティセンターは、無料で会議室やホールなどの活動の場を提供することにより、コミュニティ活動を支えているといえる。
- しかし、単なる「貸し館」となってしまう、館を利用する地域の団体間の活動を結びつけたり、活動を支援したりする活動促進の拠点となっていないのではないか。
- また、コミュニティ活動を活発に行っているコミュニティ協議会と、そうでないコミュニティ協議会との間に取り組みの違いが生まれている。

## Ⅱ. コミュニティの活性化に向けて

### 1. コミュニティ協議会の役割・機能

#### 1-1 コミュニティにおける役割・機能

(1) 土台づくりのために、コミュニティで果たすべき役割・機能

##### ①コミュニティ協議会の役割・機能・・・「ともだちづくり」のお手伝い

- 地域においては、人と人とのつながりが求められている。そこでは、人と人とが互いに知り合いになることができる、ともだちをつくることのできる状況を形成していくことが必要である。
- 地域における人と人とのつながりを形成していくためには、コミュニティ協議会は、つながりを求めている人同士を結びつける「ともだちづくり」をお手伝いする役割を果たしていくことが必要である。

##### ②具体的な取り組み

つながりを必要としている利用者、話し相手を必要としている利用者を見つけ、声をかけ、コミュニケーションをとろう！

同じ趣味・問題意識を持った人やサークル、団体を紹介してあげよう！

- 「ともだちづくり」の取り組みとしては、例えば、「ともだちづくりのサポート」のような取り組みが考えられる。これは、コミュニティ協議会のメンバーや窓口担当などが、コミュニティセンターにふらっと立ち寄って来た人に対し声をかけたり、会話をしたりすることを通じて、利用者と窓口、または利用者同士が自然な形で知り合いを作ることができるようにしていくというものである。また、利用者を他の住民や利用者が興味を持つ地域の団体に紹介する、といったお世話をすることも考えられる。

- なお、ここでいう「ともだちづくりのサポート」とは、特別の制度を創設することを意味するものではない。コミュニティ協議会のメンバーや窓口担当などが、利用者と無理なく接し、知り合いづくりやともだちづくりをサポートしていくことが理想である。

## (2) コミュニティ活動の促進のために、コミュニティで果たすべき役割・機能

### ①コミュニティ協議会の役割・機能・・・活動を行う団体へのサポート

- 地域の多様な課題に対応していくためには、自ら課題解決を図るにせよ、他の団体や行政などへ働きかけを行うにせよ、住民による地域活動が活性化していくことが必要である。
- 地域活動を活性化していくためには、コミュニティ協議会は、活動を行う団体等を支援していくことが求められる。

### ②具体的な取り組み

地域で活動する団体同士の連携や情報共有を促進しよう！

- 具体的な取組としては、地域で活動する団体同士の活動をコーディネートし、団体同士の連携や情報共有を進めることや、地域の団体とコミュニティ協議会の連携を深めることが考えられる。
- コミュニティ協議会同士は、現在も月1回定例で、研究・連絡・協議の場を設けているが、上記の活動促進のために、お互いの工夫やノウハウを今まで以上に活発に、様々な形態で情報交換することが望まれる。

## 1-2 コミュニティセンターの管理・運営における役割・機能

### (1) 土台づくりのために、コミュニティセンターで果たすべき役割・機能

#### ①コミュニティ協議会の役割・機能・・・出会いの場の提供

- コミュニティセンターは、人と人が出会い、結びつくことができる「出会いの場」となることが必要である。
- コミュニティ協議会は、コミュニティセンターにおいて、「出会いの場」を提供することが求められる。

#### ②具体的な取り組み

##### <気軽に立ち寄れる雰囲気を作る>

窓口担当者は、利用者への接し方を見直そう！

- コミュニティセンターが「出会いの場」となるためには、まず、コミュニティセンターが気軽に立ち寄れる場所であることが必要である。そのため、コミュニティ協議会は、気軽に立ち寄れる雰囲気を作る必要がある。
- 取り組みとしては、誰もが利用できる施設であることをPRする、窓口担当者が利用者に対し利用者の立場に立った明るい対応を心がける、施設の外観を工夫するなどの対応が考えられる。

##### <交流の場を作る>

気軽に立ち寄り、おしゃべりができる場所を作ろう！

- 気軽に立ち寄れる場、利用者同士（あるいは利用者と窓口担当者など）の交流の場を創出することも必要である。例えば、コミュニティカフェのように、お茶を飲みながらくつろげる場を作ることで、会話や交流が進むことが期待できる。

## <出会いのきっかけを作る>

イベントを抜本的に見直し、出会いのきっかけとなるイベントにしよう！

- イベントなど、出会いのきっかけを作ることも必要である。これまでも、各コミュニティ協議会では様々なイベントが開催されてきたが、なかには実施目的があいまいなまま、毎年の恒例行事なので開催する、というような例もあるのではないか。そうしたケースにおいては、これまで開催してきたイベントが、地域の人々が出会い、お互いを知り、交流を深めるきっかけを提供するための役割を果たしているかどうかという観点から抜本的に見直す必要がある。
- また、多様な人々の出会いを創出するためには、利用実績が低い「有職者」や「市外勤務者」などが参加できる曜日・時間帯でのイベントの開催を検討することも必要である。

## (2) 活動の促進のために、コミュニティセンターで果たすべき役割・機能

### ①コミュニティ協議会の役割・機能・・・活動の場・対話の場の提供

- 地域における様々な活動を促進するためには、コミュニティセンターは、同じ課題認識や目的を持った人と人、人と団体、団体と団体とを結びつけ、新たな活動を生み出して行く活動と対話の場であることが必要である。
- コミュニティ協議会は、コミュニティセンターの管理運営にあたり、地域の団体等に活動の場として施設を提供するとともに、コミュニティセンターにおいて、同じ課題認識や目的を持った人と人、人と団体、団体と団体とを結びつける活動を行っていくことが必要である。

### ②具体的な取り組み

地域の課題解決に貢献する団体が活動しやすいように、活動場所を提供しよう！  
コミュニティセンターを使って、同じ目的を持った人や団体が交流したり、議論できる場を提供しよう！

- 活動の場の提供については、地域の課題解決のために活動する団体に対しては、会議スペースの優先的な利用を認めるなどの運用を行うことが考えられる。
  
- 活動を生み出す対話の場の創出については、例えば、同じような目的を持っているが別々に活動している人や団体に声をかけ、個人と団体、団体と団体をつなげるイベント（スポーツ大会、趣味の大会、まちづくりについての懇話会など）を開催し、団体間の連携や活動を盛り上げていくことが考えられる。

## 2. 行政の役割について

行政とコミュニティ協議会との関係は今のままでよいか？

- コミュニティの活性化に向けて、行政とコミュニティ協議会との関係について、「何が問題なのか」から議論する必要がある。
- コミュニティ協議会の自主的な運営を尊重しつつ、コミュニティ協議会が支援や助言を必要とする際の様々な支援の一つとして、行政の支援のあり方などを検討していく必要がある。
- コミュニティセンターを積極的に PR することが必要である。行政はコミュニティ協議会と補完し合いながら、引き続き新住民へのコミュニティセンターの PR を行うほか、コミュニティセンターが誰でも利用できることや、利用方法について、また、コミュニティ協議会の仕組みや誰もが運営に参加できることについて PR を行うことが必要である。

### 3. コミュニティセンターの移転・新築・改修について

コミュニティセンターの施設・設備は、計画的に改善を図っていくことが必要。  
改修等には時間がかかるため、改修等を行わずにできることも検討しよう！

- コミュニティセンターのなかには、エレベーターがない施設や、老朽化した施設など、施設・設備の改善が必要なものもあることから、財政的な制約や将来的な人口減少なども踏まえつつ、計画的に改善を図っていくことが必要である。
- 計画的に改善を図るなかで、大規模な改修等を行うこととなった施設については、バリアフリー化対応を行うとともに、入りやすい雰囲気づくりに配慮した改善を行うことが必要である。また、小中学校等他の防災拠点との関係も踏まえつつ、防災の拠点としての機能を持たせることができないかも検討することも必要である。
- 施設の大規模な改修等には時間を要すると考えられることから、大規模改修等を行わずにできる方策、例えば、和室を洋室に転換することや、窓口の小規模な改修、コミュニティセンターの案内版を見やすくすることなどを検討していくことが必要である。
- 八幡町コミュニティセンターの移転・新築については、八幡町コミュニティ協議会からの実情報告や他のコミュニティセンターとの比較を行った結果、現状では地域におけるコミュニティ形成を推進する上で機能・設備面で改善が必要であると判断し、4月30日、市長に対し移転・新築を提言した。
- 境・境南町東部へのコミュニティセンター新設の要望については、5月14日の第10回委員会で、陳情を提出された方々も参加され議論を行った。地域の方々からは必要性が訴えられたが、コミュニティ協議会を新たに立ち上げて単独のコミュニティセンターとして運営されたいのか、他のコミュニティセンターの分館として設置されたいのか、意見の統一が図られていない部分も見受けられた。そこで、意見集約に向けて、市と情報交換等を行っていくこととなっている。



### Ⅲ. さらなる論点

本報告では、従来のコミュニティ概念を「土台」と「活動」に区分し、コミュニティ、コミュニティセンターそれぞれの「現状と課題」、コミュニティ活性化に向けての「具体的な取り組み」を、「土台」と「活動」の二つの視点から再整理して示してきた。

委員会においては、これまでに述べてきたことのほかにも、以下のような論点が考えられる。

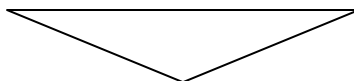
- 「コミュニティ構想」に基づいて、行政はコミュニティづくりを側面から支援する役割に徹してきたが、協働が重視されるようになった今日、より積極的な役割を果たしてもよいのではないかということ。  
具体的な論点としては、次のようなものが考えられる。
  - コミュニティの土台づくりのために
    - ・ 人と人とのつながりをつくるための場の提供
    - ・ 人と人とのつながりをつくるための情報の提供
  - コミュニティの活動の促進のために
    - ・ コミュニティの活動を促進するための資金の提供
    - ・ コミュニティの活動を促進するための人材の育成
    - ・ コミュニティの活動を促進するための政策提言
- コミュニティ活動に活発に取り組まきれていないコミュニティ協議会への対応。

これらについては、現時点で、委員会において論点としてとりあげるかどうかについて合意がなされたものではないが、論点としてとりあげた方がよいという意見が多かった場合には、委員会において議論を行い、その結果を最終答申に盛り込むことを予定している。

## 検討の経緯

日 程	主な議事
第1回委員会 (平成20年8月21日)	○武蔵野市のコミュニティ施策の現状について
第2回委員会 (平成20年9月30日)	○「武蔵野市のコミュニティ（センター）を巡る課題と問題点について
第3回委員会 (平成20年10月17日)	○「武蔵野市のコミュニティ（センター）を巡る課題と問題点について（続き） ○「市民間の連携を支え、地域の活力を高めるコミュニティのあり方に関すること」について
第4回委員会 (平成20年11月14日)	○市民委員会としての「方向」 ○市民委員会で論じたい「問題」 ○ヒアリング時、各コミセンに「尋ねたいこと」
第5回委員会 (平成20年12月16日)	○「コミュニティ」をめぐって（江上副委員長） ○第四期長期計画・調整計画等との関連について（市民協働推進課） ○コミュニティのあり方について
第6回委員会 (平成21年1月23日、26日)	○各コミュニティ協議会からのヒアリング
第7回委員会 (平成21年2月27日)	○コミュニティ及びコミセンの課題と問題点の整理
第8回委員会 (平成21年3月23日)	○市民アンケートの内容検討 ○八幡町コミュニティセンターの建替えについて
第9回委員会 (平成21年4月10日)	○市民アンケートについて（内容確定） ○八幡町コミュニティセンターの建替えについて
平成21年4月30日	○八幡町コミュニティセンター移転・新築に関する提言を市長に提出
平成21年5月8日～31日	市民アンケート調査実施
第10回委員会 (平成21年5月14日)	○境・境南町東部への要望に対する対応について ○コミュニティとコミセンの課題とその対応策について
第11回委員会 (平成21年6月19日)	○市民アンケート速報結果について ○中間報告骨子（たたき台）について
第12回委員会 (平成21年7月9日)	○中間報告骨子（たたき台・修正版）について
第13回委員会 (平成21年8月6日)	○中間報告案について

## 今後の予定



平成 21 年 9 月 8 日 (火) まで	○パブリックコメント
平成 21 年 9 月 15 日 (火) 9 月 18 日 (金) 9 月 26 日 (土)	○地域別ヒアリング (西部) 市民会館 18:30～ ○地域別ヒアリング (東部) 公会堂 10:00～ ○地域別ヒアリング (中央) 芸能劇場 13:00～
平成 21 年 10 月～12 月	○最終答申について検討
平成 21 年 12 月	○最終答申提出

## 委員名簿

氏 名	選 出 元	備考
高田 昭彦	学識経験者 (成蹊大学文学部)	委員長
江上 涉	学識経験者 (立教大学社会学部)	副委員長
小木 佳苗	学識経験者 (弁護士)	
橘 弘之	武蔵野市コミュニティ研究連絡会	
島森 和子	けやきコミュニティ協議会	
渡邊 卓治	八幡町コミュニティ協議会	
中村 誠	武蔵野市青少年問題協議会	
井原 高地	武蔵野市立小中学校 PTA 連絡協議会	
和久田 純子	武蔵野市民社会福祉協議会	
島田 豊文	武蔵野市民生児童委員協議会	
井波 信一	武蔵野市 NPO・市民活動ネットワーク	
近藤 和恵	武蔵野市立小中学校長会	
増田 美佐	公募市民委員	
清本 和子	公募市民委員	
西村 まり	公募市民委員	